

稲宮 康人 写真展

帝国後 海外神社跡地の 景観変容

期 間：2012.12/11(火)～20(木) 10:00—16:30

会 場：神奈川大学横浜キャンパス 16号館 2階 ホワイエ



2012年度 第2回公開研究会

帝国後 海外神社跡地の景観変容 —台湾の事例を中心に—

日 時：2012.12/15(土) 13:00—17:00

会 場：神奈川大学横浜キャンパス 16号館 地下1階 視聴覚B室

開会挨拶／田上 繁 (非文字資料研究センター長)

趣旨説明／津田 良樹 (神奈川大学工学部 助教・非文字資料研究センター 研究員)

報告

「台湾神社宮司・山口透と寺廟」菅 浩二 (國學院大學 研究開発推進機構研究開発推進センター 准教授)

「歴史・文化の三度の創り替え

—台湾・明延平郡王祠、旧開山神社を素材に—」中島 三千男 (神奈川大学 学長)

「台湾神社から台湾神宮へ」津田 良樹 (神奈川大学工学部 助教・非文字資料研究センター 研究員)

全体討論及びコメント

コメンテーター／蔡 錦堂 (国立台湾師範大学台湾史研究所 副教授)

司会・進行／橘川 俊忠 (神奈川大学法学部 教授)

参加自由・事前申込不要



開催趣旨

戦前期に、大日本帝国が海外において植民地化した旧台湾・旧朝鮮・旧樺太・旧南洋群島や、旧満州国を中心とした中国などの侵略地に日本人は神社を創設した。それらが海外神社であり、その数は1640余社にもものぼるとされている。敗戦とともにほとんどの神社は現地人や日本人自身の手によって破却され、その機能はすべての神社で停止した。

神奈川大学非文字資料研究センターは、共同研究プロジェクトとして「海外神社跡地から見た景観の持続と変容」を組織化している。このたび、本研究班の研究協力者であり、フリーランスのカメラマンである稲宮康人氏の写真展を企画した。氏が共同調査のなか、またはそれ以前から撮り貯めた海外神社跡地の景観に関わる写真展である。内容は戦前期海外に造られた神社で、伊勢神宮を頂点にした神社機構のなかで社格を付与された神社の現在の景観を中心にしたものである。共同調査としておこなった台湾の神社跡地調査の成果も反映し、旧帝国領内の神社を全体と部分の両方から眺めることが意図されている。

写真展に合わせ、本センター主催・2012年度第2回公開研究会を同時開催する。朝鮮半島とともに多くの海外神社跡地を残している台湾の事例について、私どもの集中調査の成果を発表するとともに、内外の研究者をお招きして、神道と歴史の関係性についても問題提起を行う。

お問合せ／神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター事務局

TEL: 045-481-5661 (内線 3532) FAX: 045-491-0659

〒221-8686 横浜市内神奈川区六角橋 3-27-1

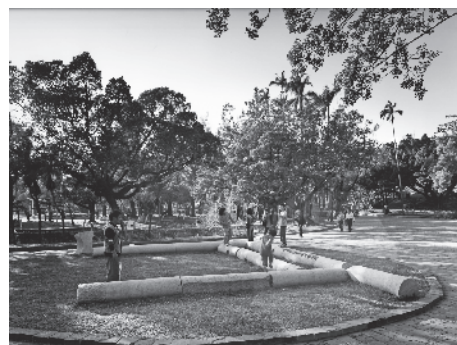
主 催／非文字資料研究センター



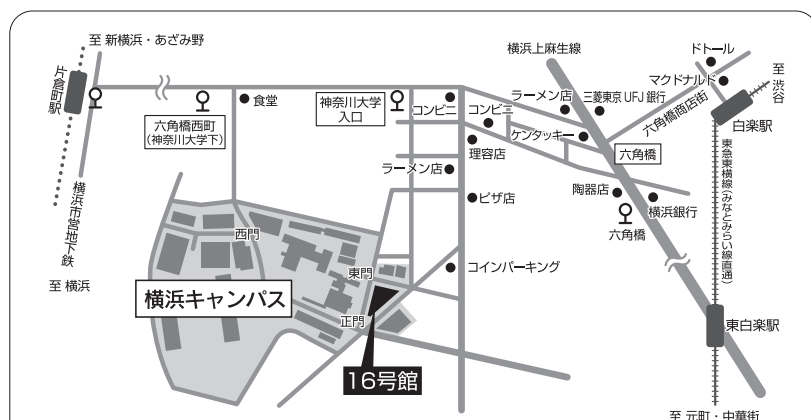
樹間の奥に旧本殿が見える一建国忠霊廟跡（中国・長春市）



戦後再整備された神社跡ー南洋神社跡（パラオ・コロール島）



公園の遊具と化した元鳥居ー台中神社跡（台湾・台中市）



【交通のご案内】

- 東急東横線「白楽駅」下車徒歩13分
- 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用（東神奈川駅経由 約15分）
【1番乗り場36系統】菅田町行きまたは緑車庫行 約14分「神奈川大学入口」下車
【1番乗り場82系統】八反橋行きまたは神大寺入口行 約14分「神奈川大学入口」下車
- 片倉町駅前（横浜市営地下鉄）から横浜市営バスを利用
【2番乗り場36・82系統】東神奈川駅西口行きまたは横浜駅西口行 約7分「神奈川大学入口」下車

※駐車場がありませんので、自家用車の利用はご遠慮ください。